公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名 リカバリー元島田 公表日 R6年 9 月 2 4 日

				l	ム衣口	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	基準より多めだが、特性の強い児童もいるため、妥当だと思う	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		・スペースに仕切りはつけているが、完全に仕切られていないので視覚や聴覚からの刺激を防ぎきれないことがある ・構造化が足らない部分もあるため、改善に努める必要あり
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		<ul><li>・古い建物のため、清掃は十分にしているが 不具合もある</li><li>・床が固いため不安がある</li></ul>
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	4	・目的に合わせた活動スペースが用意されている	<ul><li>・クールダウンの場所はあるが、人の出入りも多く個室として使うのは難しい</li><li>・今後女子児童の着替えのスペースなどが必要になってくる</li></ul>
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	・終礼にて共有を図り、改善につながるよう 意見提案→実施にチャレンジしている	
業	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
※ 務 改 善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に つなげているか。	6	0	・朝礼、終礼、モニタリングの実施により、 全員の意見抽出をおこなっている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	0	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	2	・現在作成中	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計 画を作成しているか。	6	0	・面談前にモニタリングを行い、意見交換を している	
適	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・面談の前後に話し合いを行い、現状把握と 今後の対応を共通理解している	
切 な 支	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援 が行われているか。	5	0	・打ち合わせ時に児発管が個別の目標を提示 し、それに沿って支援を行っている	
援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・提供記録の記入と、日々の振り返りシート にて確認している	
供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	0	0	・面談ごとに更新している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・個々の提案と話し合いとで行っている	

					・固定したものと変化させるものをバランス	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			よく取り入れている	
	10		4	0		
			4		    ・ニーズに応じてどちらかにかたよることな	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放			く取り入れている	
		課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1		
		  支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の	т		    ・配置や留意点など、職員間で共有して支援	
	20	内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい			にあたっている	
		るか。	6	0		
適切					・毎回終礼時に行っている	
な	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。				
支			6	0		
援					・プランニングシートに振り返りを記入して	
の	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に			いる	
提		つなげているか。	6	0		
供					・面談前には必ず行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。				
		少必女はで+1   1  し、廻切は兄旦しで付つ (いるが。	6	0		
		放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組				
	24	がは、 か合わせて支援を行っているか。				
		57 T 12 C 23.2 C 13 2 C 3 8 8	4	0		
		こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決			・一方的にならないよう本人の意思を確認し	
	25	定をする力を育てるための支援を行っているか。			ながら支援にあたっている	
			5	0		
		   障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議				
	26	に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。				
			4	0		
		   地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、				
	27	教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	_	_		
			3	0	**ウベーテいフ	
	20	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時間の存置等)、連絡調整(注意はあれば、トラブル系生味の連絡)			・適宜行っている	
	28	刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡) を適切に行っているか。	2	0		
		2,243,C11 2 CV+2/3 °	3	0	・児発とは連携がとれているが、そのほかの	
関	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支			所とはあまりとれていない	
係	23	援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2		
機		  学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所	2			
関や	30	等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して				
保		いるか。	2	2		
護	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		_			
者		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー				
٢		ハーハイ人で助言や研修を受ける機会を設けているか。 	0	3		
の連						
連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。				
1/5		(の)放立(J,の)の(J, o)	1	0		
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。				
			3	1		
		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や			・送迎の際にその都度情報共有をおこなって	
	34	課題について共通理解を持っているか。			いる	
			5	0		
		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ				
	35	ラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機				
		会や情報提供等を行っているか。	1	2		
/□		   運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を				
保護	36	行っているか。	_	_		
者			5	1	・ ルボダに  ルボダル  ルボダル  ルボダル  ルボック  ルボック	
^	27	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の意思。			・作成後に保護者の確認をいただいている	
の	37	思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど もや家族の意向を確認する機会を設けているか。	_	0		
説		C 1 20/0/27 CREMO 1 O/WAY COX/1 C LON/1 0	5	0		
明	30	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行				
等	38	い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	4	0		
			4	0	l	

				II.	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	4	・今後実施予定
保護者	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するととも に、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応しているか。	4	0	
への説	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・月に1度会報を発行している
等	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 をしているか。	5	0	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を 図っているか。	0	3	・9月に開催
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、 定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	
非常	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	
時等のは	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	
対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全 計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について 検討をしているか。	5	0	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を しているか。	5	0	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に 決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放 課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	